バイキング入門

お客様各位：

この度は弊社のバイキングについてご興味を示してくださり誠にありがとうございます。バイキングという取引システムについてご説明させて頂きます。バイキングは、カレネックス社のテクノロジーを弊社 FXDD にて使用できるプラットフォームです。裁量されていらっしゃる方には最高の取引ツールとなるシステムになっておりますので、是非一度お試し頂ければと思います。このマニュアル内に操作方法など色々な役に立つ情報が載っていますので、一度目を通すようお願い致します。

FXDD ジャパン一同

お問い合わせ： 取引可能時間中、24 時間お問い合わせ可能です。

フリーダイアル： http://sn.im/fxddfreedial
（番号を記入、すぐに弊社の日本語サポートと繋がります）

電話番号： 010-1-212-791-6405

ライブチャット： https://global.fxdd.com/jp/live-talk.html

メール： Support.jp@fxdd.com.mt

スカイプ： 日本時間午後：小松：masayukikomatsuny
日本時間夜：ハイ：kenji.high
日本時間早朝：山崎：Kindofblue1625

バイキング基礎情報

最低入金額： $1000、ドル資金移動可能

レバレッジ： 最大 400（変更はメールにて申請）

最低取引量： 10,000 通貨（レバレッジ 400 の場合ドル円証拠金$25）

最大取引量： 無し

手数料： 片道$30/million USD（ 1USD ロット$3：0.3pip）

入金方法： 銀鉱送金・カード・Paypal

デモ、ライブ口座開設： http://www.fxddjpblog.com/fxdd-kouza-kaisetsu/how_to_apply/

バイキングはポジションベースですので、買いのポジションを持っていて、同じ数量の売りの注文を入れると、これは決済と同様の扱いとなります。買いと買いの注文などは結合されます。

オンラインベースのカレネックスプラットフォーム、パワートレーダーも取り扱っております。英語のプラットフォームとなっておりますが、こちらを仕様されたい場合は khigh@fxdd.com までメールにてお問い合わせ下さい。

取引可能時間:

為替市場は 24 時間変動し続けますが、弊社を通しての取引はある設定されて時間帯でおこなって行きます。

冬時間（11/1 から 3/8）：日本時間月曜日朝 7 時から土曜日夜 6 時まで

夏時間（3/8 から 11/1）：日本時間月曜日朝 6 時から土曜日夜 5 時まで

強制決済（マージンコール）：

弊社では入金された額以上の損失を防ぐために、

必要証拠金　/　有効証拠金 ＝ 証拠金使用率 100%

で強制決済が生じます。この時点で全てのポジションが決済されます。

目次

ユーザーインターフェイス .....

ログイン 4

概要 5

通貨パネルの表示 6

チャートの表示 8

チャートの設定 9

オートハイド 10

画面フロート・ロック 11

編集メニュー・レイアウトの保存、リセット 12

取引方法 .....

成行き注文 13

利食い・損切り・トレイリングストップ 14

決済 16

ワンクリックモード 18

指値（リミット）注文 19

有効期間 20

逆指値（ストップ）注文 21

OCO 注文 22

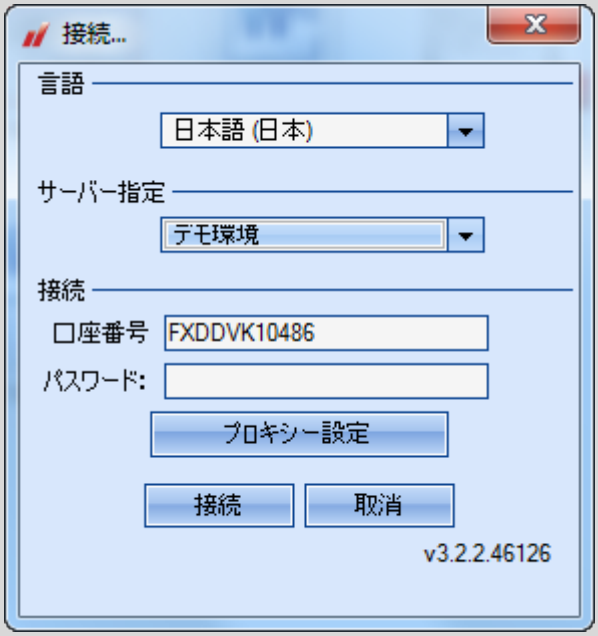
チャート上から注文・発注済注文の確認・変更 23

ポジション表示・レポートの作成 25

ログイン

1. デモのお客様はデモ環境、ライブのお客様は製品版を選択

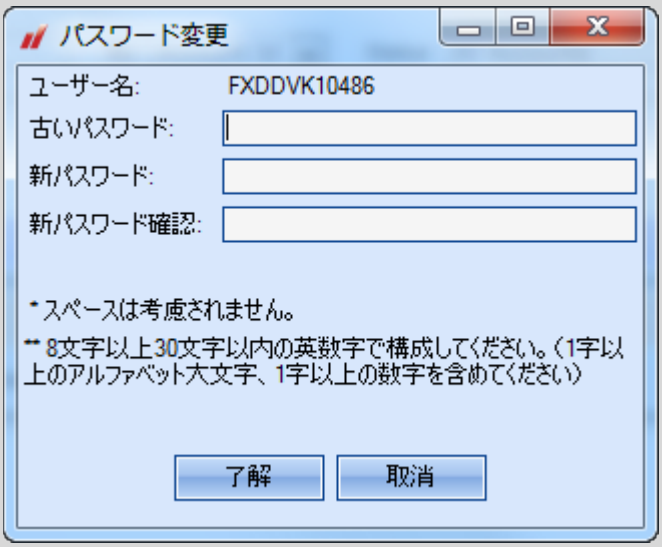
   口座番号、パスワードを半角英数字で入力（貼り付けお勧め）



2. セキュリティーのため、パスワード変更が必要です。

   上に古いパスワード、下に新しいパスワードを二回入力。

   半角英数字 8 文字以上、大文字 1 つ、数字 1 つ含まれてういる必要がございます。

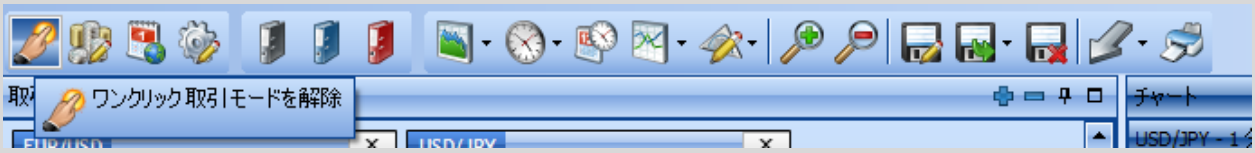


三回以上パスワードを間違えると口座がロックされますのでご注意下さい。

口座にロックが掛かった場合は、support.jp@fxdd.com.mt までお問い合わせ下さい。

ユーザーインターフェイスの概要

ツールバーにて全てのアクションをアクセスできますので、一度マウスを通してみてください。



取引通貨ペア設定：通貨ペアパネルの表示設定

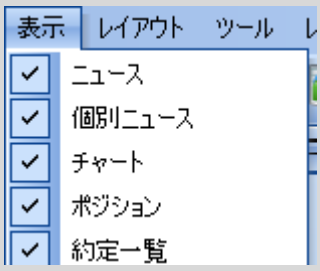
経済指標カレンダーの表示

各種レポート

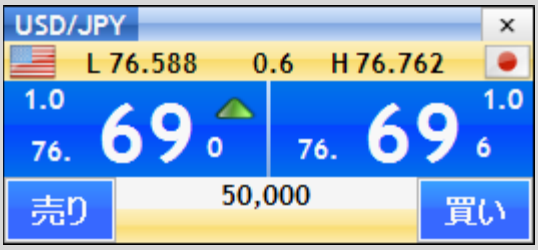
チャートの設定、テクニカル分析、時間軸の設定、テンプレート、カースルの表示種類

画面の印刷

画面上何かが消えた場合は表示のタブで戻せます。



通貨ペアパネルの表示



左上：通貨ペア **USD/JPY**

旗の下：一括約定可能金額：100 万通貨単位 （1=1,000,000 通貨）**売り 1.0、買い 1.0**

それ以上の注文は部分約定になりますが、ミリセック単位の刻みで部分約定されます。

真ん中：通貨レート **売値 76.690 買値 76.696**

旗のとなり：オープンからの最安値：L、最高値：H **L 76.588 H 76.762**

真ん中：スプレッド **0.6**

売りと買いの真ん中：取引数量（通貨単位で表示）**50,000**

ワンクリックモード有効の際に、この数量が発注されます。

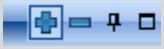
ダブルクリックで設定変更。

ショートカット：k=1,000 （50k=50,000）

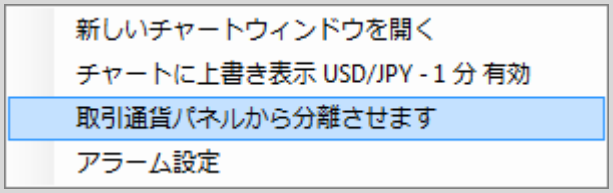
m=1,000,000 （5m=5,000,000）

表示されている通貨ペアは、通貨ペア表示設定で変えられます。

通貨パネルのとなりの ＋ - 印で通貨パネルの大きさを調整できます。

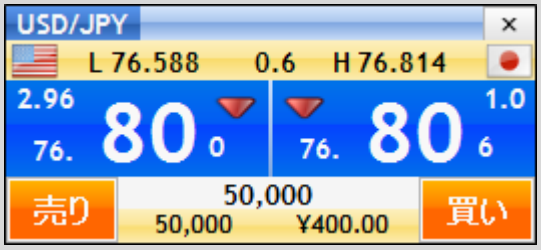


パネルを右クリックすると、通貨パネルを個別でフロートさせる事が可能です。



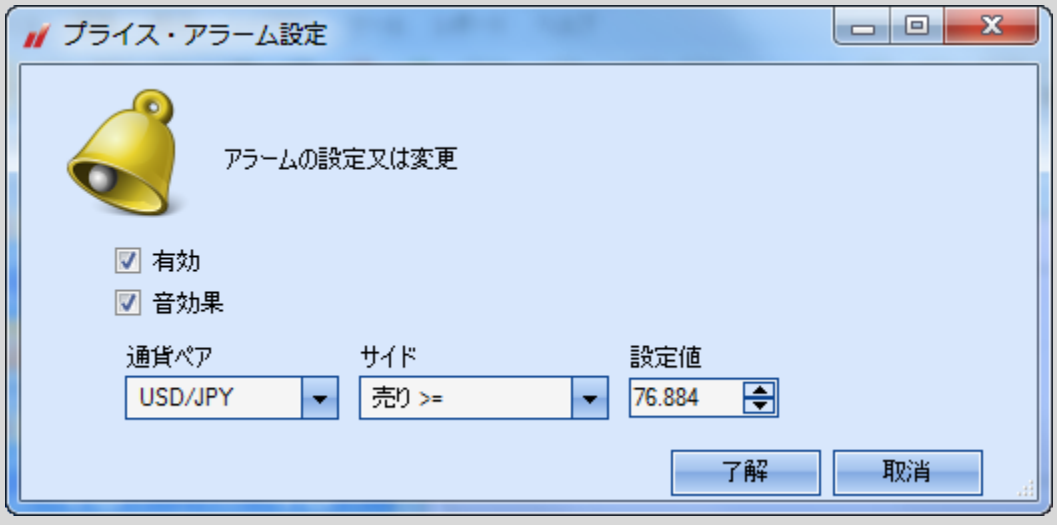
フロートしている通貨パネルを右クリックすると、元に戻せます。

ポジションを保有していると、現在の評価損益と保有している数量が表示されます。



パネルを右クリックすると、アラーム設定があります。

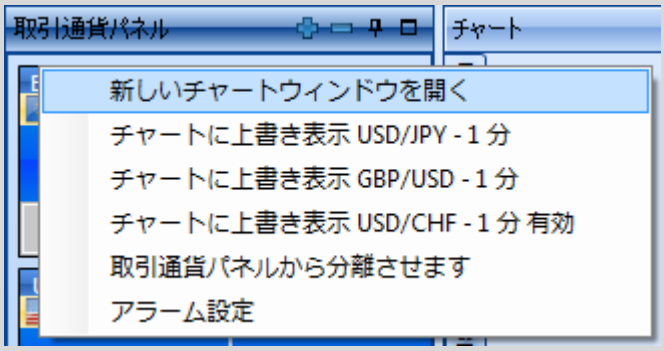
アラーム設定をすると、設定した通貨が設定した価格に達するとアラームが鳴ります。



設定済みのアラームは、画面下のアラームのタブにて設定変更、取り消し可能です。

チャートの表示方法

バイキングはチャートを四つまで表示できます。表示したい通貨ペアのパネルの上、通貨ペア名の右を右クリックします。



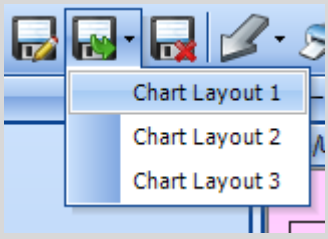
又、新しく開ける選択肢の下に現在開いているチャートのリストが表示されますので、それらのどれかを選択すると、そのチャートが上書きされます。

時間足はチャートを右クリック、又はツールバーから選択可能です。

時間足を変え、同じチャートを新規で開く事によって、同じ通貨ペアの異なる時間足のチャートを表示できます。

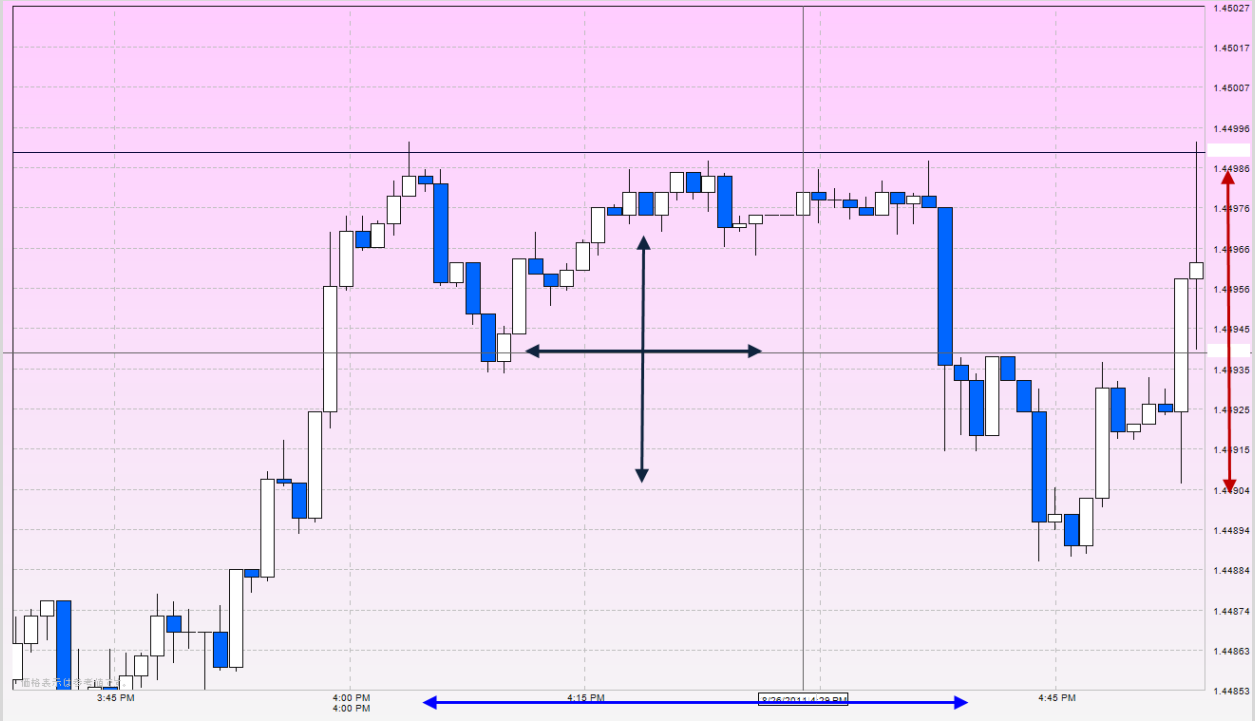
チャートの並び替えはウィンドウの右上の四つのボタンを使用。

チャートは４つしか表示できませんが、バイキングではチャートのテンプレートを複数保存して、すぐに再生する事が可能です。



左のボタンで新しくセーブ、真ん中のボタンで再生です。右のボタンでいらなくなったレイアウトを削除することも可能です。

チャートの設定



赤い矢印：プライス軸のところで左クリックして、上下にドラッグすると、足の上下の長さを調整できます。

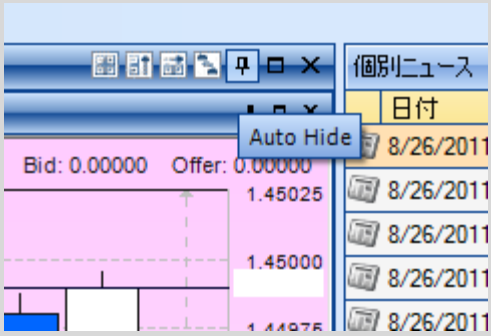
青い矢印：時間軸のところでのところで左クリックして、左右にドラッグすると、足の左右の太さを調整できます。ツールバーのこのボタンも同じ効果：

黒い矢印：チャート内で左クリックすると、足はいじらずに自由にチャートを動かせます。

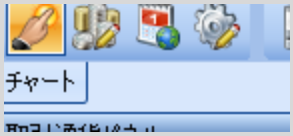
チャートをセンター：チャートがおかしな設定になったり、プライスが急激に動き画面から外れてしまった場合は、マウスホィールを上下に一回動かすと、画面の真ん中に再設定されます。

オートハイド

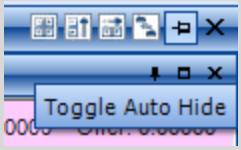
オートハイドを使用して、使用していないウィンドウを最小化する事が可能です。



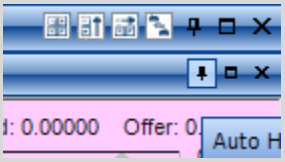
オートハイドのボタンをクリックすると、そのウィンドウが画面の下、又は上に最小化されます。



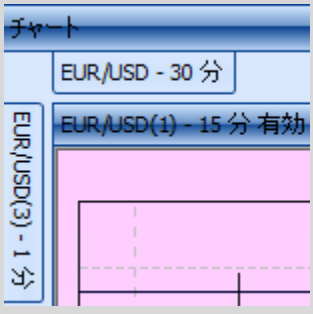
最小化されたウィンドウの名前にマウスを動かすと一時的にウィンドウが現れます。オートハイドをもう一度押すと、元に戻ります。



チャートの場合は、個別のチャートをチャートウィンドウ内にてオートハイド可能です。

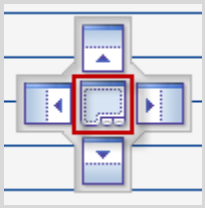


この場合は、タブがチャートウィンドウの周りに表示されます。



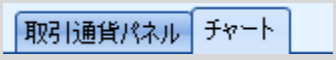
画面フロート・ロック

バイキングのウィンドウは全てフロート可能です。ウィンドウの名前（チャートなど）の上にマウスを置き、引っ張るとそのウィンドウがフロートします。

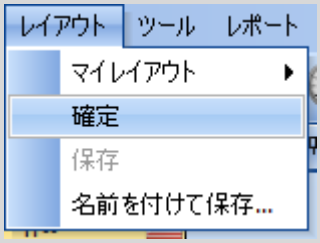


ウィンドウを引っ張り出すとこのような画像、そして画面の四方向に同じ矢印が一つずつ現れます。
画面をどこかにくっつけたい時は、ボタンを抑えたままどれかの矢印の上にマウスを持って行き、矢印の上でボタンを離すとアクションがおきます。
四方向の矢印の上でマウスを離す：現在マウスがいるウィンドウの矢印の指す方向にくっつきます。
画面左右、上下の矢印の上でマウスを離す：例：画面左端の矢印の上でマウスを離すと、引っ張っているウィンドウが画面の左側を独占します。

赤い四角に囲まれた部分の上でマウスを放すと、引っ張っているウィンドウが、下にあるウィンドウと合併してタブになります。

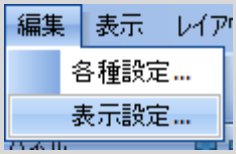


このように、色々なところに画面をフロートさせたり、くっつけたりする弧とが可能です。
気に入ったレイアウトを見つけた際には、レイアウトをロックできます。



編集メニュー・レイアウトの保存、リセット

編集のタブでチャートのカラースキームを設定できます。表示設定です。



各種設定にて色々な設定が可能です。

全般：約定の音、毎日マーケットのクローズ時にて履歴・チャート画面の約定表示などを削除、

ニュース設定

チャート：チャートに表示したいオーダー、ポジションなどの設定

執行：約定ポイントの表示

各種通知：約定時などの通知画面の設定

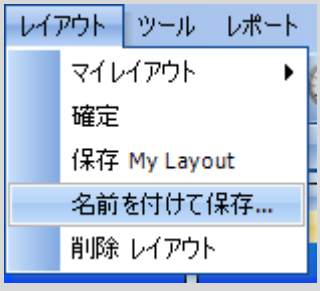
初期注文設定：注文画面の設定。

数量を設定：通貨パネルのワンクリック数量、注文画面を出した時の初期設定数量が設定されます。

有効期限と部分約定も同じように設定できます。

部分約定：通貨パネルの一括約定可能数量以上の注文は、部分約定を許可しないと発注されません。部分約定と言っても、瞬間的に約定できないだけで、大抵ミリセック単位の部分約定ですので、この設定は常に許可に設定するようお勧めします。

レイアウトを保存したい場合は、レイアウトのタブから名前をつけて保存する必要がございます。



一度名前をつけて保存すると、そのレイアウトが表示され、いつでも再度セーブ可能です。

もちろん複数のレイアウト保存可能です。レイアウトがおかしくなった時は、マイレイアウトからデフォルトを選ぶと初期設定に戻ります。

成行き注文

成行き注文は通貨パネルの売買ボタンを押して発注します。

数量は通貨単位です。50,000＝5 万通貨。

下の三つのボタンを押すと、ワンクリックでその数量の注文が発注されます。

数量は赤い箱のボタンを押すと設定可能です。

右上の青い箱のボタンを押すと反対の注文に変わります。

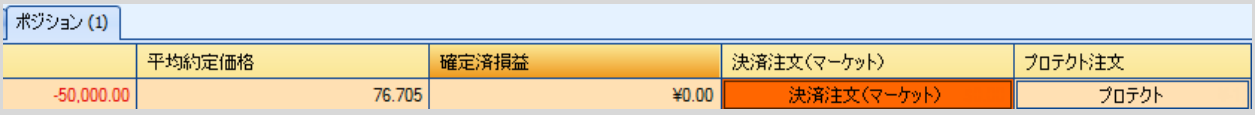
部分約定：通貨パネルの一括約定可能数量以上の注文は、部分約定を許可しないと発注されません。部分約定と言っても、瞬間的に約定できないだけで、大抵ミリセック単位の部分約定ですので、この設定は常に許可に設定するようお勧めします。

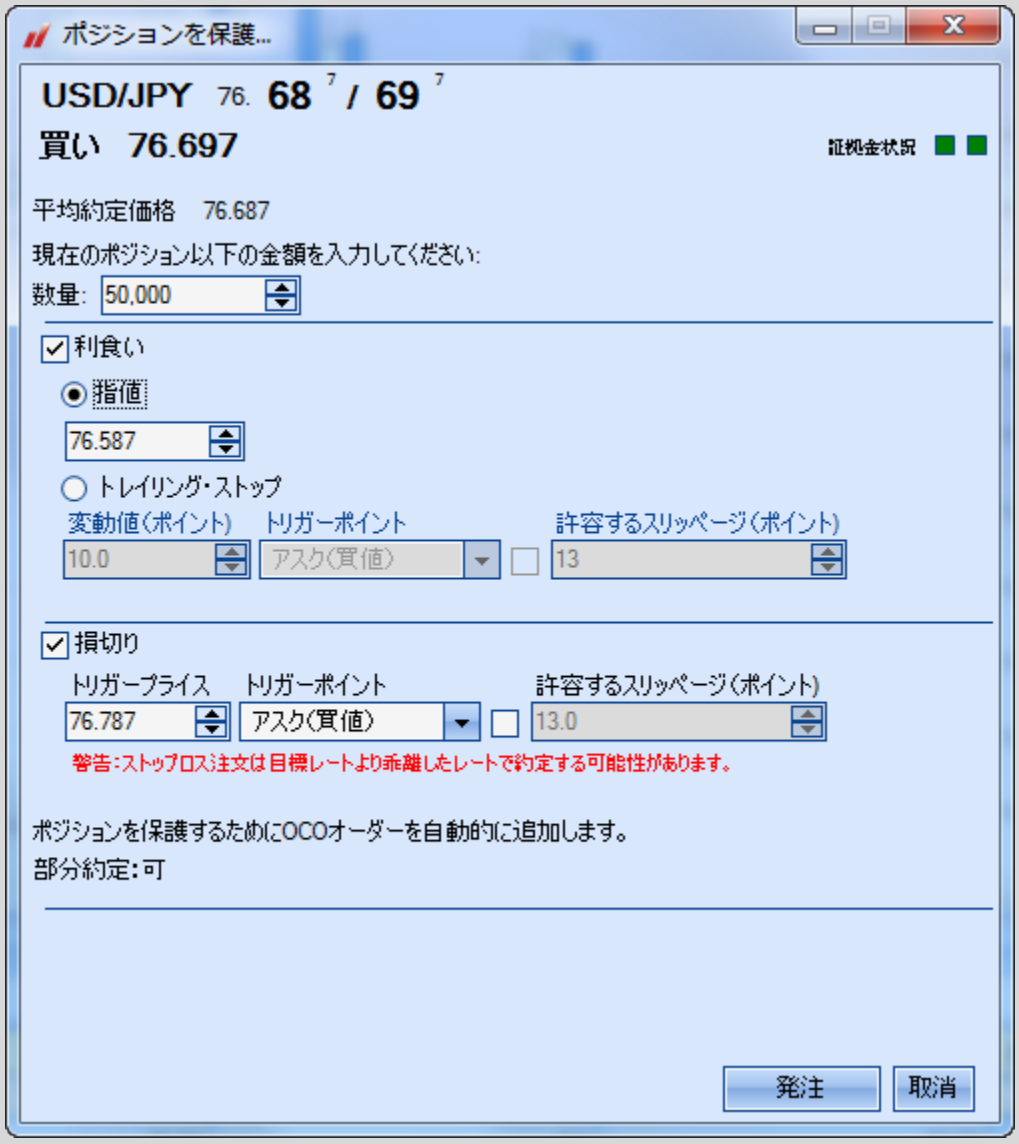
発注を押すと注文が発注され、確認画面が出ます。（確認画面拒否設定ですと出ません）

利食い・損切り・トレイリングストップ

バイキングでは成行き注文の利食い・損切り・トレイリングストップ設定を成行き注文約定後に行います。

ポジションのタブにて、設定したいポジションの右のプロテクトを押します。

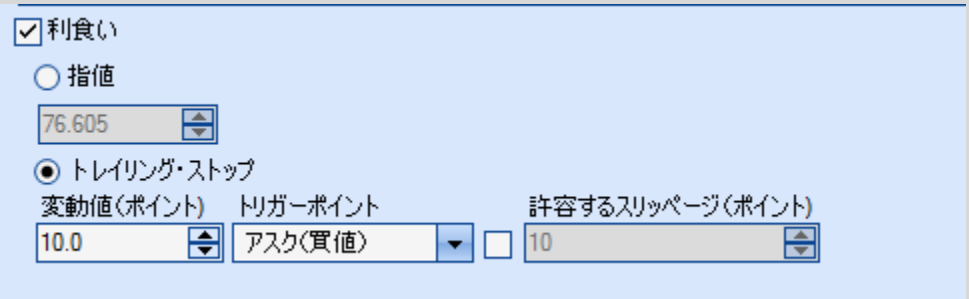




注文の数量：保有ポジション以下の数量を入れると、部分決済となります。

スリッページ：許容するスリッページを設定すると、損切りの価格に達した時に、その範囲内で約定不可能な場合は決済注文が約定しません。単位は pips となっております。

トレイリングストップとは、価格が変わるにつれて、その価格に、設定されたピップス分離れて着いていく損切り注文です。



トリガーポイントの設定で、買値、又は売値を追う事が可能です。

例：買いの注文の場合、EUR/USD を 1.40000 で買ったとします。

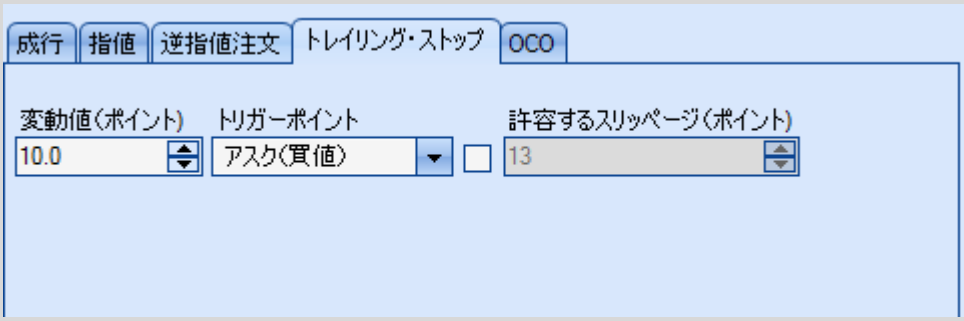
トレイリングストップを 10pips に設定。

価格が 1.40400 に上がると、損切り注文価格は 1.40300 になります。

価格が 1.40299 に下がったら、損切りが約定し、ポジションが決済されます。

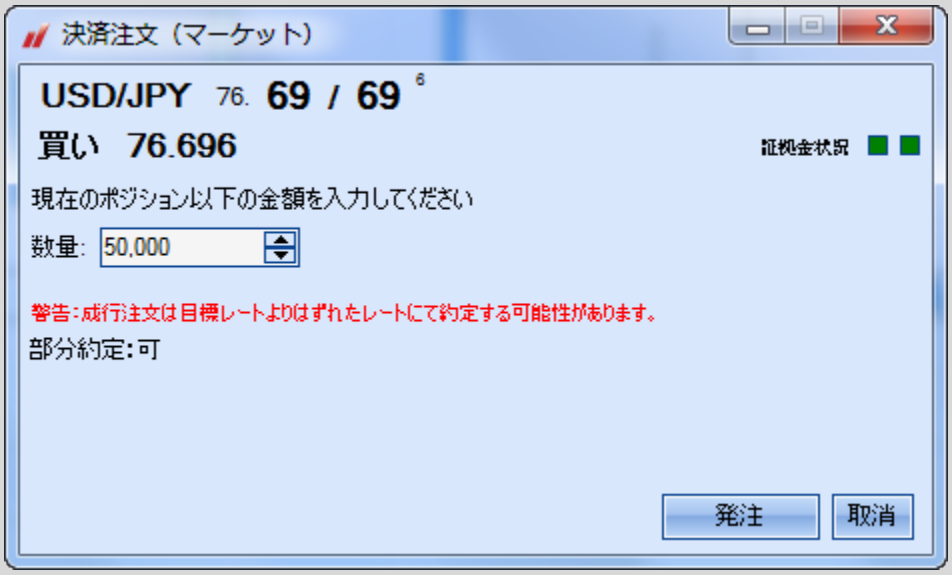
トレイリングストップの数値は買いの場合注文発注後の最高値、売りの場合最安値を更新する毎に変更します。

トレイリングストップは普通の注文画面でも発注可能です。



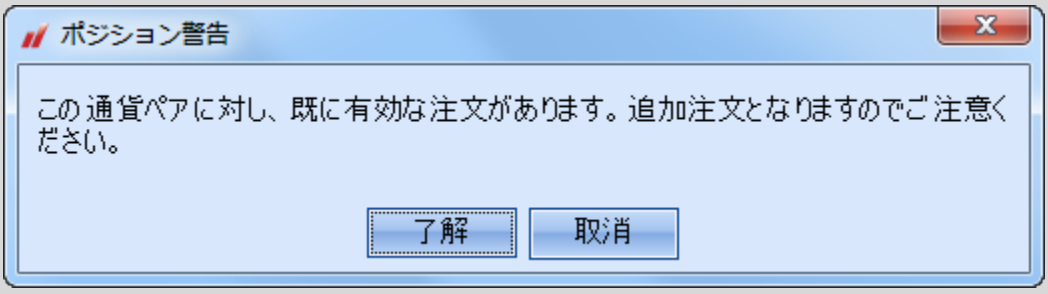
決済

ポジションのタブにて決済注文（マーケット）を押すと、注文決済確認画面が表示されます。部分決済可能です。ワンクリックモードの場合は、確認画面が出ません。

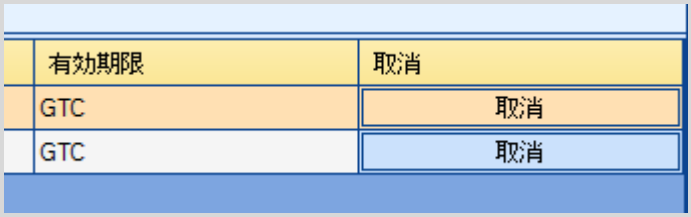


ポジションベースですので、逆の注文も決済扱いとなります。ある通貨ペアの保有している数量と同量の逆ポジションを入れると全決済、少なく入れると部分決済、それ以上の数量を入れると、現在のポジションは決済され、逆のポジションを保有する事となります。

損切りや利食い注文などが入っているポジションを決済すると、その発注済注文が残ってしまいます。この際にはこの画面が表示されます。

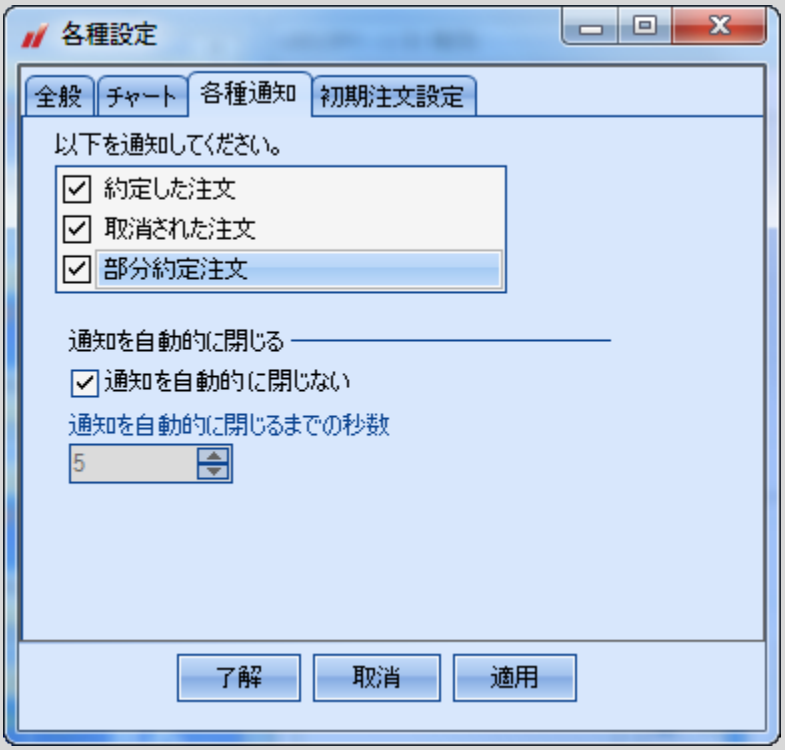


このように残ってしまった注文は、発注済注文のタブにて取り消すことが必要となります。



決済の際には通知が現れます。

この通知の設定は、各種設定の各種通知のタブにて変更可能です。

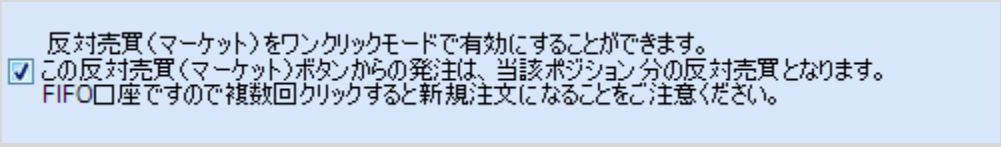


ワンクリックモード

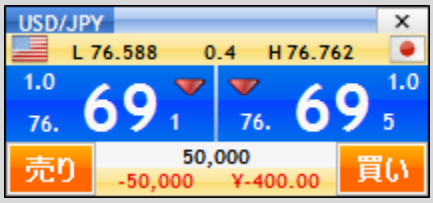
バイキングでは通貨パネルからワンクリックで注文可能です。

ツールバーのワンクリックボタンをクリックしてワンクリックモード実行します。

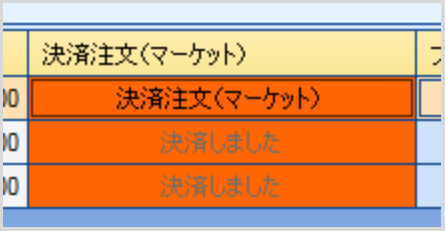
この設定をチェックすると、決済もワンクリックとなります。



ワンクリックモードオンの時は売買ボタンの色が変わり、押すと通貨パネルに表示された数量が発注されます。

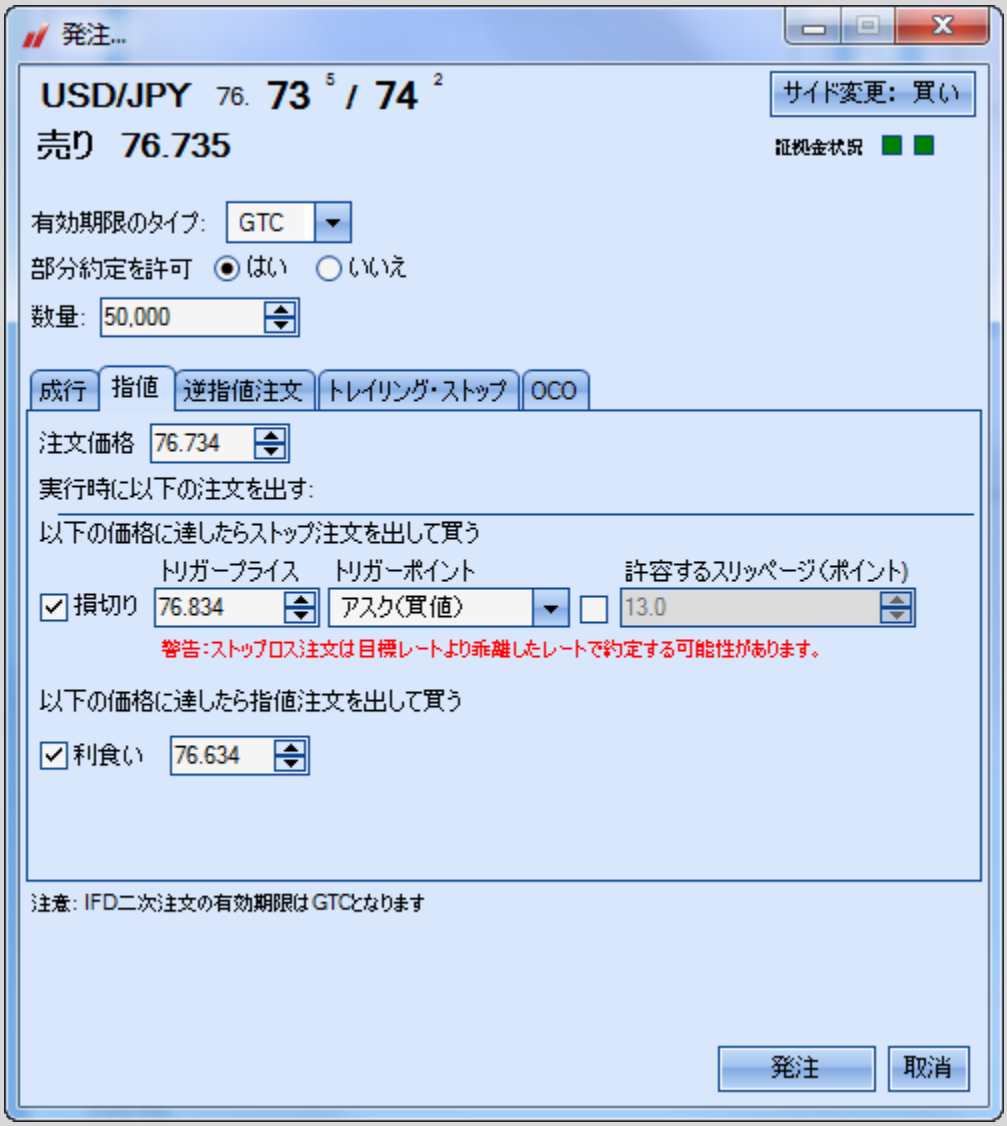


ワンクリック決済も設定した場合は決済のボタンも同じく色が変わります。



指値（リミット）注文

指値注文(Buy リミット、Sell リミット)は価格がある設定した数値に達したところで実効される注文です。



買い：現在の価格より低い価格に落ちたときに注文を入れます。ビッドプライス（左の価格、売値）が参考となります。

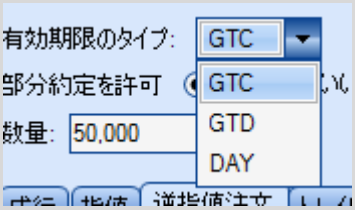
売り：現在の価格より高い価格に上がったときに注文を入れます。アスクプライス（右の価格、買値）が参考となります。

利食い、損切りも設定すると、注文が約定した時に同時に利食いと損切りのオーダーが発注されます。

スリッページ：許容するスリッページを設定すると、損切りの価格に達した時に、その範囲内で約定不可能な場合は決済注文が約定しません。単位は pips となっております。

有効期限

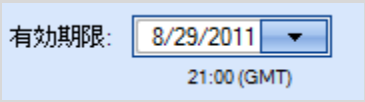
各注文画面に、有効期限のタイプの選択があります。



これは、注文の寿命を決めるものです。

GTC: キャンセルまで有効 – ユーザーが注文をキャンセルするまで、発注済注文として残ります

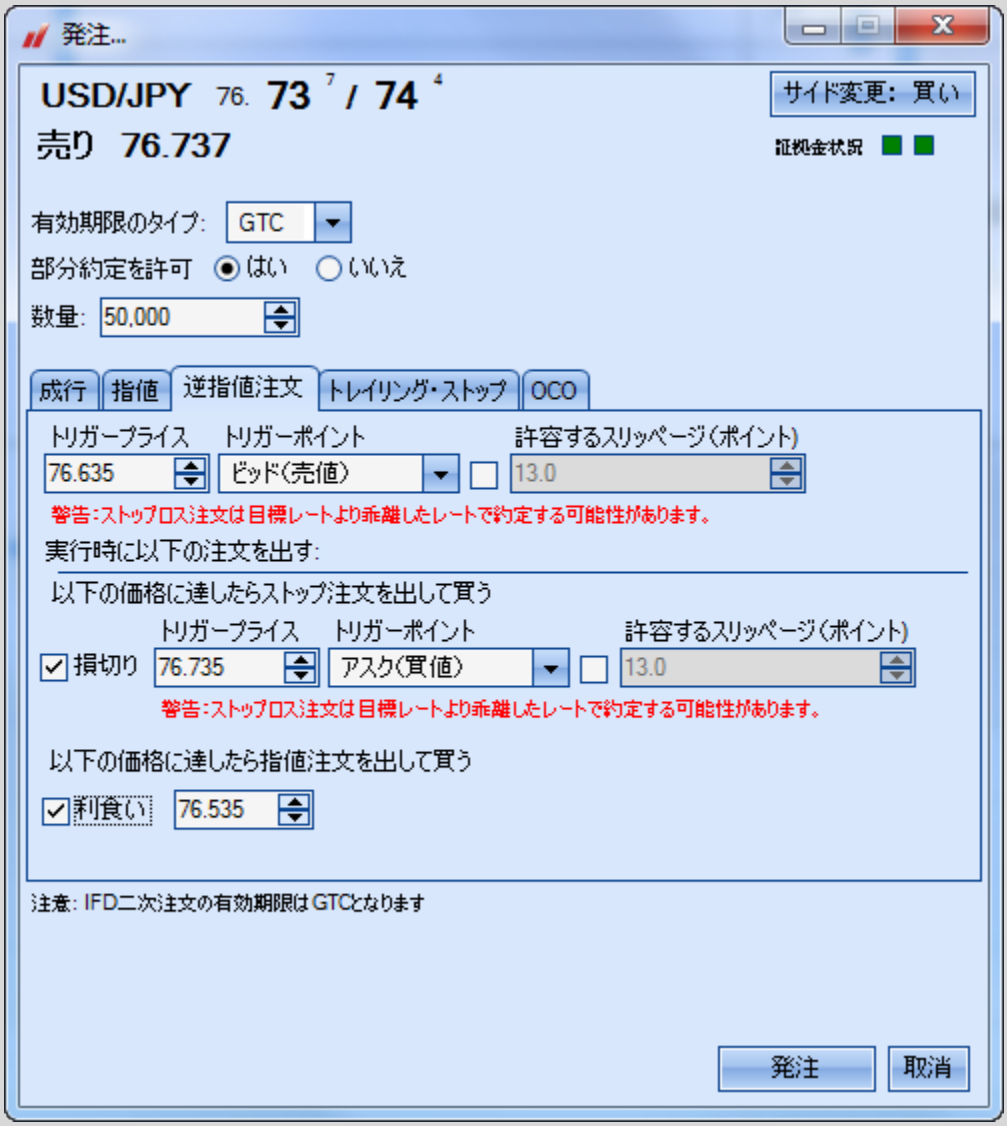
GTD: 指定日のマーケットクローズ時（日本時間翌朝 6 時）まで有効



DAY: 当日のマーケットクローズ時（日本時間翌朝 6 時）まで有効

逆指値（ストップ）注文

逆指値注文(Buy ストップ、Sell ストップ)は価格がある設定した数値に達したところで実効される注文です。



買い：現在の価格より高い価格に上がったときに注文を入れます。逆指値注文では参考となるプライス（売値、買値）を設定できます。

売り：現在の価格より低い価格に落ちたときに注文を入れます。逆指値注文では参考となるプライス（売値、買値）を設定できます。

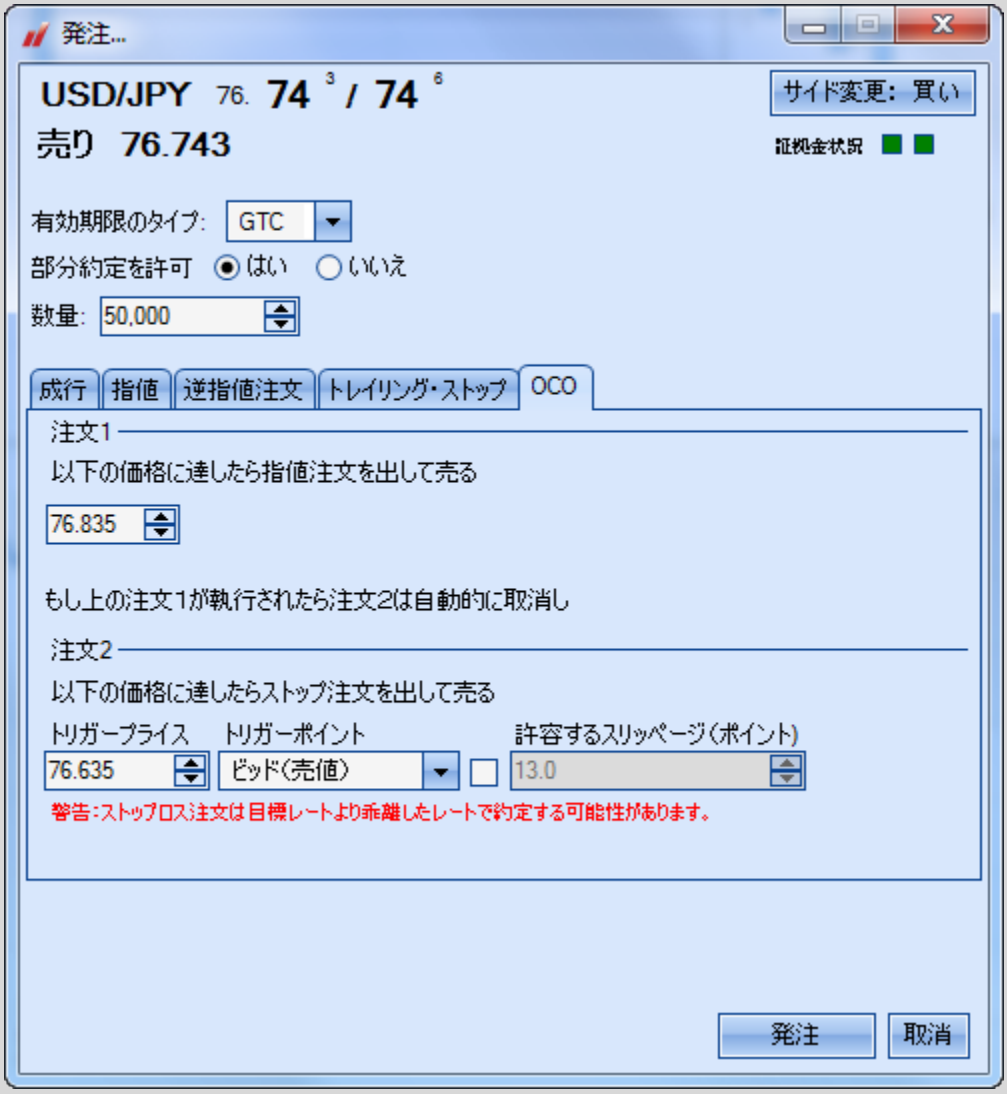
バイキングでは、逆指値注文を使用して、スプレッド内に注文を発注し、マーケットメーカーになる事が可能です。

利食い、損切りも設定すると、注文が約定した時に同時に利食いと損切りのオーダーが発注されます。

OCO 注文

OCO 注文とは、同時に買いの指値注文と売りの逆指値注文、又は売りの指値注文と買いの逆指値注文を出す注文です。

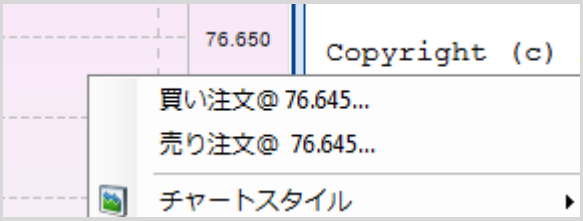
同時に出された二つの注文はペアになっており、一つの注文が約定した場合、もう片方の注文はキャンセルになります。



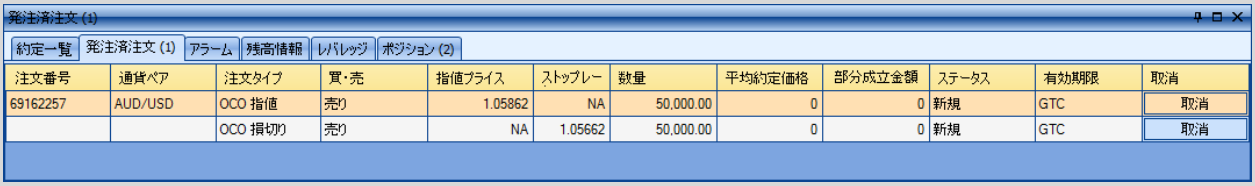
チャート上から注文・発注済注文の確認・変更

バイキングでは、チャート上から注文を出せます。

チャート上で右クリックして注文を発注すると、その時にマウスが位置していた価格が自動的に注文の設定価格となりますので、指値・逆指値注文などには便利です。

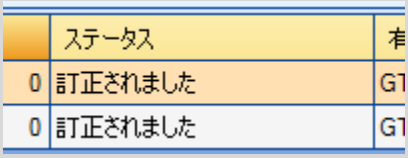


発注済注文のタブに全ての注文が表示されております。



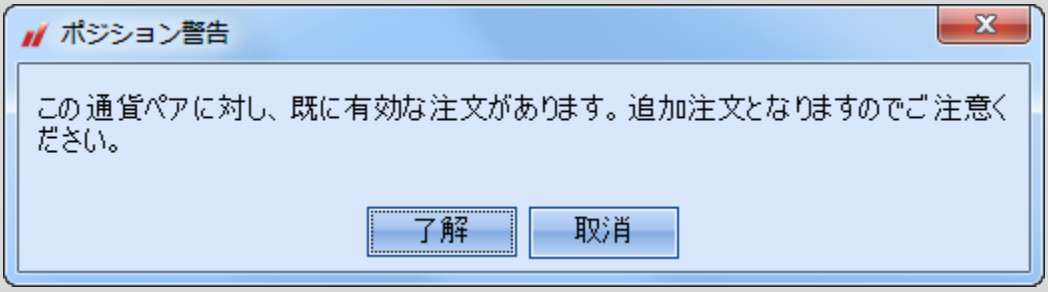
発注済みのオーダーは変更可能です。オーダーにダブルクリックすると、そのオーダーの情報が現れます。変えたい数値を変え、適応を押すと変更されます。

変更後は訂正された事が表示されます。

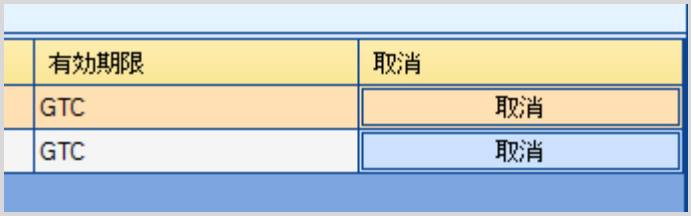


損切りや利食い注文などが入っているポジションを決済すると、その発注済注文が残ってしまいます。

この際にはこの画面が表示されます。



このように残ってしまった注文は、発注済注文のタブにて取り消すことが必要となります。



ポジション表示・レポートの作成

ポジションのタブにて保有しているポジション、又はマーケットクローズまでのポジション履歴などが確認できます。

通貨ペア	数量	平均約定価格	確定済損益	決済損益(ホーム)	評価損益	評価損益(ポイント)	必要証拠金	決済注文(マーケッ	プロテクト注文
USD/JPY	-50,000.00	76.705	¥0.00	$0.00	¥-1,250.00	-2.5	$250.00	決済注文(マーケット)	プロテクト
AUD/USD	50,000.00	1.05762	$0.00	$0.00	$-9.50	-1.9	$264.37	決済注文(マーケット)	プロテクト
EUR/USD	-50,000.00	1.44927	$0.00	$0.00	$2.50	.5	$362.31	決済注文(マーケット)	プロテクト

数量：合計数量：ポジションベースですので、ポジションを持って決済した場合は 0 と表示

平均レート：結合された注文の平均レート

確定損益額：前日のクローズからの損益額

評価損益額：保有中のポジションの損益額

必要証拠金：ポジションの必要証拠金

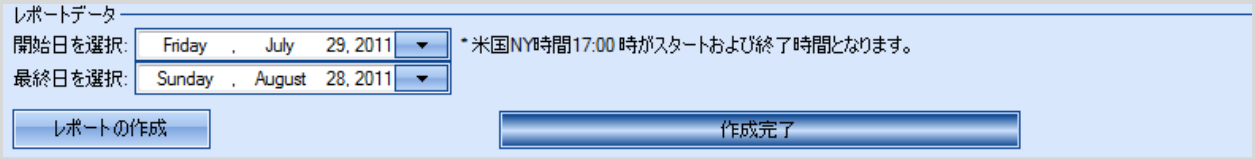
バイキングは四種のレポートを発行できます。

黒：取引履歴 – 約定注文の一覧

青：口座情報 – 入出金、損益、スワップ、手数料など資金の変動

赤：お客様報告書 – 全てを含めた総合レポート

緑：注文履歴レポート – 一日単位で取引履歴をもっと詳しく見れます



期間を設定し、レポート作成を押すとその期間のレポートが作成されます。注文履歴レポートはデータ量が多いため、一日単位となっております。

高リスクについての警告： 外国為替取引はすべての投資家に適しているわけではない高水準のリスクを伴います。レバレッジは一層大きなリスクと損失の可能性を生み出します。 外国為替取引を決定する前に、投資目的、経験の程度およびリスクの許容範囲を慎重に考慮してください。当初投資の一部または全部を失うことがあります。したがって 損失に耐えられない資金投資をしてはなりません。外国為替取引に関連するリスクを検討し、疑義があるときは中立的な財務または税務アドバイザーに助言を求 めてください。